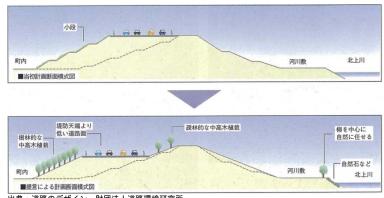
資料7・別紙

景観に配慮した事例

1. 景観眺望に配慮し、土工設計の工夫を検討した事例

■河川敷から自動車が見えないように路面高を設定し、景観眺望に配慮



出典:道路のデザイン 財団法人道路環境研究所



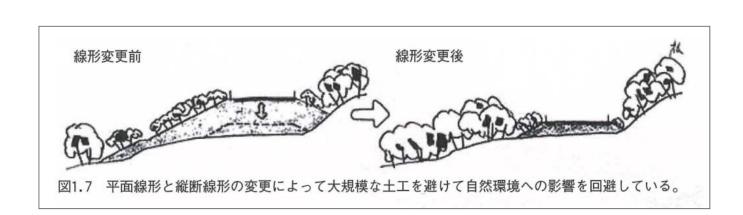
写真一国道4号平泉バイパス(岩手県西磐井郡平泉町平泉)

景観に配慮した事例

2. 地形改変に伴う景観影響に配慮し、道路の線形や構造を工夫した事例

平面線形と縦断線形の工夫

■平面線形と縦断線形の変更によって、大規模な 土工を避けて自然環境への影響を最小化



出典:道路のデザイン 道路環境研究所

事例:日光宇都宮道路

環境に配慮した事例

1. 盛土のり面での植栽等の工夫により自然環境・景観を保全した事例(移植・植栽)

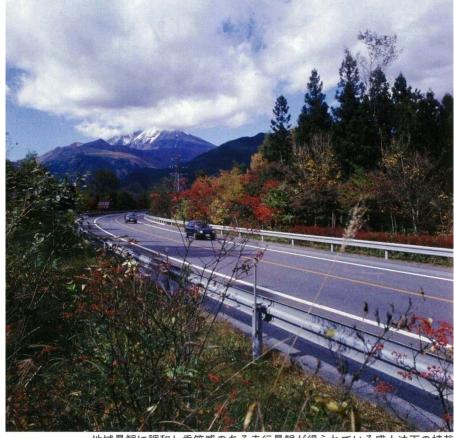
移植•植栽

■既存木を活用した、道路敷地内外への移植に伴う周辺環境の復元





敷地外移植(左:整備直後 右:約20年後/銭沢橋周辺)



地域景観に調和し季節感のある走行景観が得られている盛土法面の植:

事例:定山渓国道、日光宇都宮道路

環境に配慮した事例

2. 生育環境の維持・保全を図った事例(動物対策)

①動物対策(けもの道の保全、フェンスの撤去)

■景観対策と合わせた動物に対する環境保全施策の実施

【けもの道の保全】



(整備当初):カルパートボックスによってけもの道を確保している。



(現在):緑に覆われて人工的な印象が緩和されている。

【動物の道路横断防止策】



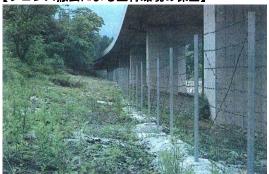
(整備当初)



(現在):高さを高くするなどの改良によって大型動物 等の侵入を防いでいる。植栽の生長による自然植生 の復元と確実な侵入防止効果が認められる。

事例:日光宇都宮道路、圏央道

【フェンス撤去による生育環境の保全】



(整備当初):高架下に道路管理上必要な有刺鉄線柵を設けている。





(現在):有刺鉄線柵を撤去して生物の移動経路を確保している。

1. 企業誘致•雇用

①地域の課題

- ■平成14年3月の圏央道「日の出IC」の開通を受け、地域の土地利用ポテンシャルを活かした町の活性化が急務 (H17.3当時)
- ■自立都市実現のための、地域の雇用創出機能、生活水準向上に資する 生活利便機能向上が地域の課題

出典:H17年3月「日の出町 第三次長期総合計画 後期基本計画」より

②地域の取組

- ■地元自治体は、高速道路ICの整備とあわせて区画整理事業やアクセス 道路等の整備を展開し、高速IC周辺への企業誘致を促進
- ■日の出町を含む複数の自治体が集まり「<mark>勉強会」を開催、地域全体としての活力向上を検討</mark>

【整備前】



【整備後】



図「三吉野工業団地」整備によるIC周辺の土地利用の変化

③取組の成果

- ■雇用者数は、全国が横ばいであるにもかかわらず、日の出町は 50%増加(過去10年間)
- ■沿線地域への大型店舗の出店により地域の雇用が創出され、 周辺市町村の活性化に寄与

【全国の雇用者数】

【日の出町の雇用者数】

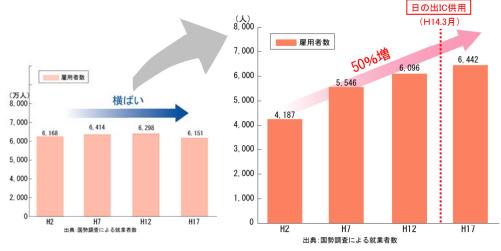


図 全国及び日の出町の雇用者数変化

◇地域雇用の創出に大きく貢献

- ・2,300人の雇用を創出
- ・日の出町のみならず、周辺市町村の雇用 創出にも貢献(隣接地域へ効果が波及)
- ⇒雇用総数の70%の方が隣接市町村



◇地域の活性化に寄与

・開業以降、1日約2~3万人が来場 ⇒来客者の約8割は自動車による来場



出典:H20年8月 国土交通省 記者発表資料

2. 公共交通

①地域の課題

- ■平成19年3月末、利用者の減少および航空自衛隊百里基地への燃料輸送 の廃止による収益の減少等に伴い、**鹿島鉄道が廃線**
- ■廃線後、代替手段としてバスを走行させるも、周辺道路の慢性的な渋滞により、利用者離れ(6割減)。 ⇒市民の生活に支障



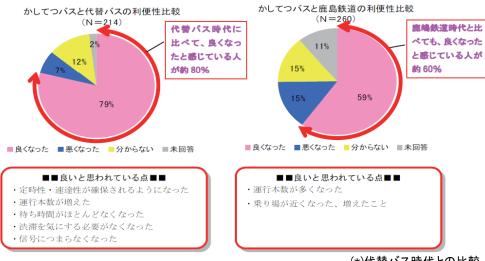


②地域の取組

- ■地元**自治体**や住民代表等から構成される「かしてつ沿線地域公共交通戦略会議」が発足
- ■鹿島鉄道の廃線敷きをバス専用道路として整備。渋滞の影響を受けない「BRT」(バス高速輸送システム)が平成22年8月、運行開始
- ■運行後も「かしてつバスサポーターズクラブ会員」の募集等、地域ぐるみで 取組

③取組の成果

- ■BRT開通後、利用者数は前年比15%増加。(*) 市民の身近な足が確保
- ■住民も、鹿島鉄道・代替バス時代よりも、利便性が向上したことを実感 (利用者の半数以上が「良くなった」と実感)



(*)代替バス時代との比較

出典:かしてつ沿線地域公共交通戦略事務局 発行「かしてつバスネットワークニュース」より

図 BRT利用者アンケート結果



写真 バス専用道路(廃線敷き)を走行するBRT



図 BRT路線図

出典:石岡市ホームページ

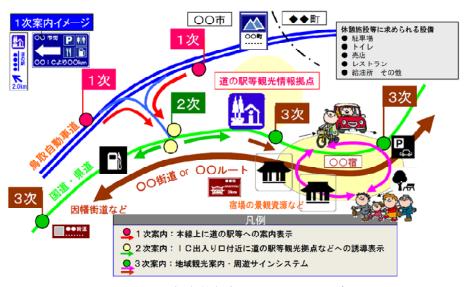
3. 観光地域づくり

①地域の課題

- ■鳥取自動車道は、無料の高速道路であるが、コスト縮減等の観点から 休憩施設等(SA・PA)が未設置
- ■沿線の市町村は、<mark>観光客の素通り</mark>による地域への影響を懸念

②地域の取組

■高速道路整備に伴う時間短縮効果により、周遊観光が増える事例もあり、 地域の観光活性化を図るための「委員会」を設立し、沿線市町村の観光 資源に関する情報提供方法を検討



図ー総合的な案内サインのイメージ

出典:鳥取河川国道事務所

「第1回、第2回地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」説明資料

③取組の成果

■地域活性化を図っていくための**官民協働**での地域対策を実施

◇方策案1:

IC周辺の休憩施設との連携



図ーIC周辺の休憩施設との連携イメージ 図ー道の駅(路外施設)への誘導案内を

◇方策案2:

標識等の設置による沿道施設への誘導



図-道の駅(路外施設)への誘導案内を 道路上に設置している例(鳥取自動車道)

◇方策案3:

沿線地域との連携によるマップなどの情報ツール整備





鳥取自動車道(新直轄)の走行時画面の改良イメージ(提案)

- ・高速道路走行と同様の表示方法にする。
- ・現道の道の駅を画面右側にも表示する。(※道の駅、ガソリンスタンドはもともと画面左地図上に表示)

図ーカーナビへの施設表示



図ー休憩施設ガイドマップ

出典:

鳥取河川国道事務所「第1回、第2回地域活性化のための **7** 鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」説明資料

3. 観光地域づくり

①地域の課題

- ■平成23年3月19日に全線開通した北関東自動車道は、栃木県や茨城県、 東北地方から群馬を訪れる人が増えると<mark>期待</mark>されている。
- ■一方では、高速道路の広域ネットワーク形成により、群馬が「通過県」に なるとの懸念がある。

「太田桐生IC」⇔ 「佐野田沼IC」が開 通することにより、 北関東自動車道が 全線開通となった。



出典:http://www.e-nexco.co.jp/kitakan/ (ネクスコ東日本HP)

②地域の取組

- ■群馬サファリパーク(富岡市)は、栃木、茨城両県の動物園、水族館との 連携を検討
- ■茨城県は、北関東自動車道の開通を契機として、地域の活性化を図ることを目的とした、茨城県、県内沿線8市町(水戸市、笠間市、ひたちなか市、筑西市、桜川市、小美玉市、茨城町、大洗町)及びネクスコ東日本関東支社で構成する「いばらき北関沿線地域活性化協議会」を開設。



- ①群馬サファリパーク(群馬県富岡市) ②宇都宮動物園(栃木県宇都宮市)
- ③なかがわ水遊園(栃木県大田原市)
- (3)なかがわ水遊園(栃木県大田原市 ④那須どうぶつ王国(栃木県那須町)
- ⑤かみね動物園(茨城県日立市)
- ⑥アクアワールド茨城県大洗水族館 (茨城県大洗町)

図 施設位置図

③取組の成果

- ■アクアワールド茨城県大洗水族館、かみね動物園、宇都宮動物園、なかがわ水遊園、那須どうぶつ王国の5施設をパートナーとし、それぞれで、他施設を紹介するコーナーを設けたり、共通の割引クーポン券がついたチラシ(スタンプラリー)を配布する全国的にも珍しい広域連携イベントを実施。
- ■茨城県では、沿線地域の産業や歴史・文化、レジャーからショッピングまで幅広く地域の魅力を情報発信する「いばらき北関.com」をインターネットで開設



出典: http://www.safari.co.jp(群馬サファリパークHP)

図 北関東道AtoZ(アクアとズー)プロジェクト



出典: http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/local/news/20110703/556236(下野新聞HP)

図 施設の連携調印式(下野新聞)



出典:http://www.ibaraki-kitakan.com/cms/(いばらき北関.comHP)

図 地域情報を発信する「いばらき北関.com」